

1. 総論

【総括判断】「新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している」

項目	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況が残るものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	→

(注) 令和3年1月判断は、前回2年10月判断以降、3年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

生産活動は自動車関連産業を中心に緩やかに回復している一方、個人消費は感染拡大の影響により、サービス消費を中心に減少し、持ち直しの動きに一服感がみられる。こうしたなか、雇用情勢は弱い動きが続いている。

【各項目の判断】

項目	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較
個人消費	感染症の影響が残るものの、持ち直している	感染拡大の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる	↘
生産活動	着実に持ち直している	緩やかに回復している	↗
雇用情勢	感染症の影響により、弱い動きが続いている	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている	→
設備投資	2年度は減少見込み	2年度は増加見込み	↗
企業収益	2年度は減益見込み	2年度は減益見込み	→
住宅建設	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	→
公共事業	前年並みとなっている	前年並みとなっている	→
輸出	持ち直している	増加している	↗

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、引き続き持ち直していくことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「感染拡大の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる」

スーパー販売は、内食需要が引き続き堅調なことから、主力の食料品などを中心に増加している。コンビニエンスストア販売は、感染拡大を受けて、持ち直しのテンポが緩やかになっている。ドラッグストア販売は、衛生用品や食料品などが引き続き堅調であるほか、新規出店効果もあって、増加している。百貨店販売は、感染拡大に伴う来店客数の減少から、足踏みの状況にある。家電大型専門店販売は、テレビなどを中心に増加している。ホームセンター販売は、園芸用品やDIY用品が引き続き堅調であることから、増加している。乗用車販売は、新型車効果等により持ち直している。旅行取扱高は、国内旅行が感染拡大の影響を受けており、全体として厳しい状況にある。

(主なヒアリング結果)

- 感染拡大に伴い観光地やオフィス街で来店客数が減少。さらに、飲食業に対する営業時間の短縮要請がなされた12月中旬以降、夜間の人出が著しく減少したため売上が落ち込んでいる。(コンビニ、大企業)
- 11月下旬ごろまでは緩やかな回復基調であったものの、その後の感染拡大に伴い来店客数が減少したことから再び厳しい状況となっている。年末以降、状況がさらに悪化しており、夏の感染拡大の時期以上に落ち込みが大きい。(百貨店、大企業)
- 緊急事態宣言の発令を受けてほとんどの予約がキャンセルとなり、前回宣言時と同水準まで落ち込んでいる。(旅行、中堅企業)
- GoToトラベルもあり、年末年始の予約がほぼ埋まっていたところ、同施策が停止となり、キャンセルが増加した。足下の稼働状況は全体の1割以下であり、これでは採算が合わず、平日は休館する予定。(宿泊、中小企業)
- 年末年始の宴会需要が大きい居酒屋は、外出自粛や時短要請により、予約もなく、客も来ない状況。そうした飲食業の不調の影響を受け、タクシーや観光団体バスなども連鎖的に落ち込んでいる。(経済団体)

■ 生産活動 「緩やかに回復している」

自動車関連は、国内外の需要が持ち直しており、生産は高水準で推移している。オートバイは、輸出向けを中心に持ち直しの動きに一服感がみられる。航空機体部品は、海外航空機メーカーが減産していることから、減少している。金属工作機械は、海外受注に増加の動きがみられることから、生産は持ち直しの兆しがみられる。半導体集積回路は、足踏みの状況にある。液晶は、弱含んでいる。プラグは、増加している。開閉機器、電動機ともに、緩やかに回復している。普通鋼、特殊鋼ともに、増加している。

- 新型車投入効果に加え、米国や中国で在庫が少ない状態が続いているため、輸出向けが増加し、生産ラインは非常に忙しい状況。欧州の一部で再びロックダウンが行われているが、工場の稼働停止を要するものでもなく感染拡大の影響はほとんどない見込み。(輸送機械、大企業)
- 自動車メーカーの生産増加に伴い、生産は当初計画を上回っており、フル生産の稼働が続いている。(鉄鋼、大企業)
- 国内、海外ともに需要の回復が続いていることから、休日出勤や派遣作業員を増加するなどして生産水準をさらに上げており、稼働はフル生産となっている。(電気機械、大企業)
- 中国や米国を中心に受注が増加しており、業種別では、半導体向けが好調を維持し、自動車向けも持ち直している。そのため、足下の生産稼働レベルは上昇している。(生産用機械、大企業)
- 米中対立の影響や競合他社による供給過多により需給バランスが崩れており、予想以上に製品価格が下落していることから、収益環境が悪化することを懸念している。(電子部品・デバイス、大企業)

■ 雇用情勢 「一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている」

輸送用機械などで求人が緩やかに増加していることから、有効求人倍率は下げ止まっているものの、全体では弱い動きが続いている。なお、完全失業率は低水準である。

- 生産の回復に伴い、グループ会社から従業員を受け入れているほか、期間工の新規募集を行っている。(輸送用機械、大企業)
- 輸送用機械に加え、電気機械やプラスチックなどの自動車部品を生産する業種からの求人が戻ってきている。(労働局)
- 営業時間の短縮のほか、大規模な物産展などのイベントも少なくなっているため、新規の募集を積極的に行っていない。(百貨店、大企業)
- 感染症の影響による需要の低迷から、店舗を削減する予定のほか、従業員も新規の募集を行わなかった。(旅行、中堅企業)
- 雇用調整助成金の活用により企業が雇用維持に努めていることから、新規求職者の増加を抑えられている。(労働局)

■ **設備投資** 「2年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期

- 製造業では、情報通信機器や生産用機械などが増加となるものの、輸送用機械などが減少となることから、減少見込みとなっている。
- 非製造業では、建設が減少となるものの、運輸などが増加となることから、増加見込みとなっている。

➤ 新技術の研究開発等、必要な分野への投資は継続して行う必要があるものの、感染症による先行き不透明感などから、不要不急の投資の先送りを行っている。(輸送用機械、大企業)

■ **企業収益** 「2年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期

- 製造業では、情報通信機器などが増益となるものの、生産用機械や輸送用機械などが減益となることから、減益見込みとなっている。
- 非製造業では、運輸が赤字となることや卸・小売などが減益となることから、減益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『上昇』超となっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期

- 景況判断BSIでみると、全産業の現状判断は、鉄鋼が「上昇」超に転じたことや、サービス業の「下降」超幅が縮小したことなどから、「上昇」超となっている。また、先行きは「下降」超に転じる見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「弱い動きとなっている」

- 分譲住宅、持家、貸家が引き続き減少していることから、弱い動きとなっている。

■ **公共事業** 「前年並みとなっている」

- 前払金保証請負金額でみると、国、県は増加しているものの、市町村が減少していることなどから、前年並みとなっている。

■ **輸出** 「増加している」

- 輸出(円ベース)は、自動車関連を中心に増加している。なお、輸入(円ベース)は、原油及び粗油が減少していることなどから、前年を下回っている。

■ **企業倒産** 「件数は前年を下回っている」

3. 各県の総括判断

	前回(2年10月判断)	今回(3年1月判断)	前回比較	総括判断の要点
愛知県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況が残るものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	➡	生産活動は自動車関連産業を中心に緩やかに回復している一方、個人消費は感染拡大の影響により、サービス消費を中心に減少し、持ち直しの動きに一服感がみられる。こうしたなか、雇用情勢は弱い動きが続いている。
静岡県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況が残るものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している。	➡	個人消費は感染拡大の影響により、観光地への入込及び宿泊客数が弱含んでいるほか、百貨店販売で持ち直しの動きに一服感がみられるなど、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は輸送機械を中心に着実に持ち直している。こうしたなか、雇用情勢は弱い動きが続いている。
岐阜県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況が残るものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	➡	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、個人消費は持ち直しの動きに一服感がみられるものの、生産活動は着実に持ち直している。こうしたなか、雇用情勢は弱い動きが続いている。
三重県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況が残るものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部に厳しい状況があるなか、生産活動でも持ち直しの動きに一服感がみられることから、全体でも持ち直しの動きに一服感がみられる	➡	個人消費は、感染拡大の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっており、生産活動は持ち直しの動きに一服感がみられる。こうしたなか、雇用情勢は、有効求人倍率では底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きが続いている。